

オッズパーク杯

熊本競輪〔F I〕

4/21月・22火・23水

熊本けいりん
ニュース



電投番号

87#

S級戦展望

新田祐大ら記念レベルの強豪!!

今回の熊本F Iは全国幹旋でS級1班は記念並の強豪を軸に15名。この中から準決を突破して決勝に乗って来る選手を7名抜擢するのは至難の業ですが、地域を考えて選考。

北日本からは熊本新バンクは2度目に成る4代目グランドスラムー新田祐大が登場、前年はその熊本での失格を含め5回の失格で今年のG I出場は限られてるが、2月は準Vに優勝は流石、昨年9月F Iのリベンジもあり捌きではなく本来の自力で狙うはVのみ。パートナーは年齢を感じさせない痛烈差しの先輩成田和也(福島)。

関東からは、落車負傷からの復帰戦に成った豊橋全日本選抜でいきなり決勝に乗った吉田拓矢(茨城)、今年はS・S奪回に燃えて居り、自力主体に展開に応じて何でもやれるのが最大の

武器。連携するのは長い間、ナショナルチームに属し、チームスプリントの第一走者として世界の舞台で活躍した天才スプリンター雨谷一樹(栃木)。

中四国からは、ナショナルチームに属し結果を残した河端朋之(岡山)はその経験を活かし、千葉250のP I S T 6は正に無敵、2月現在で60連勝15連覇の記録を続行中、本業の競輪でも結果を残し、記念・特別で活躍しての強烈パワーで準決突破、決勝は単騎で一発狙う。

南関東からは、熊本の新バンクは昨年9月に走り、犬伏湧也の逃げを捲り、河端朋之・伊藤旭・北津留翼・岩本俊

A級戦展望

大西貴晃が軸

田憲昭(香川)。



松井 宏佑 選手

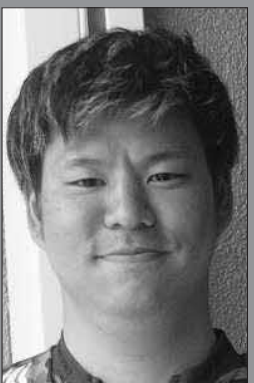


新田 祐大 選手

昨年10月別府G III優勝で初の競輪祭出場を決める大西貴晃(大分)が一番手。地元を代表して一人選ぶとすれば自力でも先行主体の田川翔琉(熊本)。北日本は点数持つて落ちた泉慶輔(宮城)は、信じられぬスランプ状態なので準決を突破すると思えるのは、まとめて大ベテラン開坂秀明(青森)の痛烈差し。関東は来期のS級は決めてる自力主体にメンバーと展開に応じて何でもやれる梁島邦友(茨城)。中近は、昨年から優勝を量産してる捲り兼備の館泰守(愛知)で5名。残る2名はA級の水が合ってたのか1・2月は自力で抜群の成績を残してる藤原俊太郎(岡山)、連携するのは復調池



梁島 邦友 選手



大西 貴晃 選手

介を相手に優勝してる松井宏佑(神奈川)。今年は2月の奈良記念を獲り、初GP出場へ順調。

7人目は九州を代表して小川勇介(福岡)、準決勝は弟々子の岩谷拓磨を使い決勝に乗って来るのでは。

予備軍は実績の大槻寛徳(宮城)に松井宏佑と連携可能な福田知也(神奈川)。熊本は2度目のホープ道場晃規(静岡)。

決勝の予想は松井の逃げを新田ー成田で捲るか、その上を吉田ー雨谷で行ってしまうか。

頑張れ!
熊本

級班	選手名	年齢	期別	BK数
S1	上野優太	28	113	0
S2	松本憲斗	28	119	6
A1	田川翔琉	27	119	5
A2	山川奨太	27	117	3

S級戦出場予定選手(成績は2月27日現在)

級班	選手名	年齢	府県	期別	BK数
S1	大槻寛徳	45	宮城	85	0
S1	成田和也	46	福島	88	0
S1	福田知也	42	神奈	88	0
S1	新田祐大	39	福島	90	2
S1	小川勇介	40	福岡	90	0
S1	柴崎淳	38	三重	91	0
S1	河端朋之	40	岡山	95	6
S1	雨谷一樹	35	栃木	96	0
S1	西村光太	39	三重	96	0
S1	岡本総	37	愛知	105	0
S1	吉田拓矢	29	茨城	107	0
S1	松井宏佑	32	神奈	113	7
S1	上野優太	28	熊本	113	0
S1	岩谷拓磨	28	福岡	115	8
S1	道場晃規	27	静岡	117	5
S2	小沼良	53	埼玉	68	0
S2	新田康仁	51	静岡	74	1
S2	山内卓也	48	愛知	77	0
S2	坂上樹大	47	石川	80	0
S2	筒井敦史	48	岡山	85	0
S2	志村太賀	41	山梨	90	0
S2	村田雅一	40	兵庫	90	0
S2	吉松直人	44	高知	90	0
S2	竹山陵太	39	宮城	91	0
S2	小林弘和	41	佐賀	91	0
S2	柴田洋輔	39	東京	92	0
S2	鈴木裕	40	千葉	92	1
S2	高間悠平	37	福井	95	0
S2	福島武士	39	香川	96	0
S2	柿澤大貴	35	長野	97	0
S2	西岡拓朗	41	広島	97	0
S2	藤井栄二	34	兵庫	99	1
S2	市橋司優人	32	福岡	103	1
S2	坂本周作	32	青森	105	6
S2	大矢崇弘	33	東京	107	0
S2	原口昌平	32	福岡	107	4
S2	奥村諭志	31	岡山	111	4
S2	今村麟太郎	29	高知	111	0
S2	島村匠	28	福岡	111	0
S2	佐々木堅次	30	福島	113	5
S2	伊藤奎	26	福島	115	1
S2	原田亮太	28	千葉	115	10
S2	脇本勇希	26	福井	115	7
S2	塚本瑠羽	27	神奈	119	5
S2	山本浩成	26	福岡	119	4
S2	松本憲斗	28	熊本	119	6
S2	中山拓人	25	埼玉	121	7
S2	真鍋頭汰	30	三重	121	4
S2	村田祐樹	26	富山	121	5

A級戦主力選手(成績は2月27日現在)

級班	選手名	年齢	府県	期別	BK数
A1	紫原政文	57	福岡	61	0
A1	開坂秀明	50	青森	79	0
A1	舘泰守	49	愛知	80	0
A1	池田憲昭	42	香川	90	0
A1	小原唯志	41	茨城	101	2
A1	大西貴晃	32	大分	101	1
A1	藤原俊太郎	29	岡山	111	7
A1	梁島邦友	25	茨城	117	5
A1	都築巧	25	高知	123	0

スピードチャンネル実況中継予定

4月21日(月)	4月22日(火)	4月23日(水)
690ch <10:00~14:30>		—
<10:00~17:00>		
691ch		690ch
KEIRIN.JP 全レース実況中継		

熊本けいりんホームページ



<https://www.kumamotokeirin.jp/>

開門時間

3日間とも午前9時45分

1着の決め手		2着の決め手	
逃げ	15%	逃げ	19%
まくり	27%	まくり	20%
差し	57%	差し	25%
マーク ※繰上り	1%	マーク	36%

(2024年7月~2025年2月)

バンク情報

◎新田 祐大(福島) 39才90期生

ご存知4代目グランドスラマー。前期は走れば失格が付きまとい、川崎・熊本・小倉競輪祭・弥彦でやり4回、その前の期もあったので年に5回でここまでトータル3ヶ月の回転停止。来期はS級に踏みどまりはしたが2班に落ちる屈辱、それでも明るく振る舞い、ナショナルチームのコーチ役として練習しているのが2月小松島ミッドGⅢ準Vであり松戸FⅠV、今回は縦勝負一本。

◎松井 宏佑(神奈川) 32才113期生

同僚の仲間、北井佑季がドーピングで約半年間走れない事もあり、それで発奮したのが2月奈良記念の優勝、古性優作を相手に価値ある記念3度目の栄冠、熊本新バンクは昨年9月に走り、犬伏湧也の逃げを捲り、現S・Sの岩本俊介をブツ千切り、河端朋之の猛追を振り切り、伊藤旭・北津留翼を相手に優勝したばかり。今回のメンバーは相手に取って不足なし、狙うは熊本戦連覇。

◎吉田 拓矢(茨城) 29才107期生

4年前に小倉競輪祭を獲り、初グランプリを経験した強豪も、以後は失格に信じられない落車が続く、選手生命を絶たれたのではと不安視されたが、昨年の競輪祭で落車、再起の立川記念で又落車したのを機に捲土重来を期して調整したのが2月豊橋全日本選抜の決勝進出、これが自信に成らない筈はなく2度目のグランプリに照準絞った以上は優勝するしかない。

◎成田 和也(福島) 46才88期生

旧熊本バンクでは13年前の日本選手権(ダービー)を優勝。その頃と変わらないのは不断の努力。熊本の新バンクは昨年の記念で経験して居り不安はゼロ、今回連携する新田祐大とはこれ迄、数え切れないくらい連携して良い思い出があるので今回は3日間一緒に貰いワン・ツー決めるのがベスト、準決は別に成っても実力と執念で決勝には乗ってる真の実力者。

◎河端 朋之(岡山) 40才95期生

ナショナルチーム時代は海外の大会で優勝(ケイリン)もある世界に通用したスプリンターは競輪でも活躍、昨年の弥彦寛仁親王牌は決勝に乗り3着で賞金を稼いだのが名古屋ダービーの特選シード。昨年9月の当地は犬伏湧也の番手で松井宏佑にはやられたが準V。それより凄いのはPⅠSⅡTⅥで打ち立てた60連勝で15連覇、約3千万を稼いだ事実。3日間自力戦。

◎雨谷 一樹(栃木) 35才96期生

長い間ナショナルチームに属し、深谷知広・新田祐大とチームスプリントを組み、第一走者として世界に通用したスピード王は東京五輪に出られない事が決まるやささと卒業して本業一本に決めた後は自力でなく追い込み主体で結果を出しているのは流石。それが2月宇都宮で森田優弥の逃げに付けての地元V。メンバー次第では捲りには残しているのも武器。ラインの吉田拓矢と連携。

◎小川 勇介(福岡) 40才90期生

吉岡稔真氏にデビュー前から世話に成り、それが現在の活躍、「不動會」では若大将として岩谷拓磨を鍛えているのが昨年後半からの好成績、熊本新バンクは昨年の記念を走り、九プロでも経験しているので不安はゼロ。今回は記念並のメンバーが揃い、どうやったら決勝に乗れるか頭を使うが準決勝は弟々子岩谷を洗脳して何としても決勝に乗り、九州代表の面子を保つ事に全力。

次回開催案内

※♥はガールズを含む開催

- 熊本FⅡ デイ開催♥ 5月2日(金)・3日(土)・4日(日)
- 熊本FⅡ モーニング7♥ 5月13日(火)・14日(水)・15日(木)
- 熊本FⅡ ミッドナイト♥ 5月26日(月)・27日(火)・28日(水)